

## 令和6年度決算審査における事業評価シート（分科会まとめ）

事業名 交通安全対策の推進

## 1. 分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント	
市民（市）のニーズを把握した事業となっているか	①なっている(20点)	4	○	15	<p>除草、除雪に対する市民の要望と、行政の考え（事業の方向性）が合致していない部分がある。</p> <p>議会、自治会要望により、市民のニーズは把握しているものの、予算に限りがあること、人材不足などの要因で対策が講じられていない。</p>
	②どちらかといえばなっている(15点)	3			
	③どちらかといえばなっていない(10点)				
	④なっているとは言い難い(5点)	1			
事業の課題、問題点を認識できているか	①できている(20点)	2	○	15	<p>除雪に関して課題を認識しているが、対応できていない。</p> <p>除草に関しては、年2回程度の除草が必要であると認識しているものの、予算化することができていない。</p> <p>交通事故の発生傾向は把握し、認識されているが、事業の中でさらなる対応・対策を講じることはできると考える。</p>
	②どちらかといえばできている(15点)	6			
	③どちらかといえばできていない(10点)				
	④できているとは言い難い(5点)				
事業に工夫（費用、効率・効果）は見られるか	①見られる(20点)	1	○	10	<p>除草に関しては、地域、農家組合等の協力を得ようとしているが、実績として協力自治会等の数に変化はなく限定的。事業の対策として地域へ委託しているが、実態に即しているか疑問が残る。しかし、幹線道路を中心に必要に応じて補正予算で対応されていることは評価する。</p> <p>生活道路の除雪に関しては、市民要望があるにも関わらず、事業として見直しが行われていない。</p> <p>グリーンベルトは、計画的に拡大が図られているが、区画線については、依</p>
	②どちらかといえば見られる(15点)	4			
	③どちらかといえば見られない(10点)	3			
	④見られるとは言い難い(5点)				

					然として通学路に危険箇所が見られる。
計画、ビジョン、施策等に見合った事業となっているか	①なっている(20点)	1		15	予算は計画に沿って執行されている。 交通事故発生件数が高い状況を鑑み、警告板、案内板等の充実が必要である。
	②どちらかといえばなっている(15点)	6	○		
	③どちらかといえばなっていない(10点)	1			
	④なっているとは言い難い(5点)				
事業の成果	①成果がある(20点)	3		15	除草、除雪などは事業に一定の成果は見られるが、市民はそれ以上に望んでいる。 執行率から見て、事業は適正に執行された。
	②どちらかといえば成果がある(15点)	5	○		
	③どちらかといえば成果がない(10点)				
	④成果があるとは言い難い(5点)				

## 2. 分科会評価

評価		分科会の評価理由
70	4 良好である 76～100点	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 除草、除雪に対する市民の要望と、行政の考え（事業の方向性）が合致していない部分がある。</li> <li>▶ 議会での議論、自治会要望により、市民のニーズは把握しているものの、予算に限りがあること、人材不足などの要因で対策が講じきれていない。</li> <li>▶ 交通事故発生件数が高い状況にある。交通事故の発生傾向は分析されているが、事業の中でさらなる対応・対策を講じることができると考える。</li> </ul>
	3 おおむね適正である 51～75点	
	2 問題がある 26～50点	
	1 不適正である 1～25点	

## 3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
5	5 拡充する	<p>【交通安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 交通事故発生件数は依然として高い状況にある。市外からの来訪者を増やす施策を進めていること、また、いなべ市の特徴として大型車や企業関係者の往来が多い状況を鑑みれば、警告板、案内板等のさらなる充実が必要である。</li> <li>▶ 道路パトロール隊、自治会要望に頼らず、市民が直接危険箇所を通報できる市民通報システムを構築すべきである。そうすることで、道路パトロール隊及び自治会要望の効率化が図られ、道路パトロール隊はこれまでできなかった取組ができるとともに、自治会長の負担も大きく軽減する。</li> </ul> <p>また、市民通報システムは、交通安全対策に限らず、河川、道路、ごみ、上下水道、森林整備などの通報が迅速にできる効果が期待できる。</p> <p>【除草】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 生活道路（市道）に対する対応 事業の対策として、自治会、農家組合等の協力を積極的に得るとしているが、高齢化により対応できる地域は限られている。また、過去数年の実績をふり返っても、委託できた地域、団体数に大きな変化はない。</li> </ul>
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	

		<p>このことから、「生活道路(市道)の除草は対応できない。」との姿勢を示すだけでなく、地域や市民が積極的に協力できるしくみを考える必要がある。</p> <p>また、施策評価にあるように、除草作業を「地域への委託して経費の削減を図る」という意識に問題がある。経費削減のためでなく生活道路を地域で維持していただくための視点に立ち、事業を進められたい。</p> <p>通勤・通学の安全対策として、除草事業を考えるのであれば、幹線道路のみでなく、生活道路の除草対策事業について、事業の意義を見直し、第3次総合計画で明確に示されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要幹線道路に対する対応       <p>年2回の除草は、時期をずらせば可能との考えは議会で示された。予算を拡充し、対策を講じられたい。</p> </li> <li>▶ 予算削減の傾向にあるが、市民生活に大きく影響する重要な事業であるとの認識に立ち、予算配分を見直されたい。</li> </ul> <p>【除雪】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 除雪計画により面積(距離)が決まっており、これ以上の面積の拡大が図られない状況であるが、市民生活に影響がある道路の積雪時の実態を把握し、検討及び対策を講じられたい。</li> </ul> <p>また、降雪量が多い自治体が講じている対策を参考に、地域で除雪対策ができるよう、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①除雪機購入補助金の創設</li> <li>②除雪ガイドブックを作成し、市の役割、地域・市民の役割などの市民への理解促進を図られたい。</li> </ol>
--	--	--